

研究発表会準備進む

特別講演は吉川透氏に!!
 テーマは「生と死は隣り合わせ」

第十一回玄々堂君津病院研究発表会の準備が、杉春彦実行委員長のもとに着々と進められている。今年は、栄養科、臨床工学科、ホスピタルマナー委員会、看護部緩和ケア研究会の四部署から日頃の研究と取り組みの成果が発表される予定だ。

また、今回の特別講演は、吉川透氏に講演して

頂く事が決定した。吉川氏は地元県立木更津高校出身の映画監督で、一九九八年度日本産業映画ビデオコンクールで「末期患者と家族への対応の配慮—死を学ぶ」を発表され、教養部門賞を受賞されている。今回は、その作品上映と御講演頂く予定である。

例年六七月に開催されていた発表会であるが、今年は初秋漂う風が発表される予定だ。

また、吉川透氏に講演して

平成十三年四月、ホスピタルマナーミニセミナーが開催された。君津中央公民館にて、福寿草の会（君津中央公民館活動グループ）と、当院安全対策委員会との共催による「医療と安全」についての講演会が市民を対象に開催された。

医療と安全対策の現状や医療者にて開催される予定だ。

特別講演は吉川透氏に!!
 テーマは「生と死は隣り合わせ」

C S 委員会発足


ボランティアさんによる手作りの七夕かざりが夏の訪れを告げる

【医療と安全】
君津中央公民館にて高田名譽院長講演

六月十六日、君津中央公民館にて、福寿草の会（君津中央公民館活動グループ）と、当院安全対策委員会との共催による「医療と安全」についての講演会が市民を対象に開催された。

講演後には、市民からの質疑応答も活発に行われ有意義な意見交流の場となった。

本年四月より、加藤医師、黒田医師に代わり、月曜日に仁和医師、水曜日に内海医師が一般外来を担当している。

又、坂田クリニックでは、本年六月に退任された中尾医師、黒田水曜日に中川医師、木曜日に濱野医師が腎臓内科外来の担当となつた。

平成十三年七月、糖尿病外来診察室（十四・十五・十六診）横にカウンターが設置された。

待望の移動売店オープン


7月2日移動売店がオープンしました。日用雑貨、衣料品、雑誌、新聞等の販売をしますので、どうぞご利用ください。尚、販売はアルファ薬局が運営しています。（日祭日を除く毎日）

●販売時間と場所

10:00~12:00 外来
 13:00~14:30 3A病棟ディルーム
 14:30~16:00 4階病棟ディルーム

日本臨床工学校士会 千葉で開催


また一つ、新しい分野に取り組む薬剤師

対抗親善ゴルフ大会
当院惜敗

五月二十六日から二日間、千葉県医療センターに於いて、日本臨床工学校士会通常総会と第十一回学术大会が開催された。当院からも三演題が提出され、五百余名の参加者の下、活発な質疑応答が行われた。

また、ホテル東横インの萬葉の間では五十社のメーカー展示が行

われ、最新の機器・技術に触れる

こともできた。

鈴木達也先生、永眠される

かねてから病氣療養中の元病院顧問鈴木達也先生が、七月十日夕刻、逝去されました。先生は昭和四十九年病院設立当时から同法人理事として、また昭和六十三年には当院婦人科部長として就任され、病院の発展に多大な貢献をいたしました。

ここに、ご冥福をお祈りい

病院空調・給湯設備の改修、七月未完了

IIより快適な療養環境の提供をめざして II

玄々堂君津病院の空調システムが改善される。病院の中央部分空調設備は昭和四十九年建設以来二十七年間稼働してきたが、今回の改修で、病棟部分は個別空調に、一階外来部門は最新のバッケージ型空調システムになった。軸体部

は平成十年の増築改修で改善されているので、今回の改修で、昭和四十九年建設の大部がリニューアルされたことになった。

病棟における今回改修の稼働開始部分の環境は著しく改善されしており、残りの外来部門も七月末

には改修が完成する予定である。また、現在、高齢者のためのバリアフリー対策に取り組んでおり、早めに全館のバリアフリー対策に取り組んでおり、急に取りかかる予定である。

貴町駅からマザーパークをを目指して、到着後、会場で永年勤続職員の表彰が行われ、ジンギスカン料理を満喫しながら新入職員の紹介が行われた。迎ハイキングが行われた。夏空の各病室ごとの空調がコントロール可能に

**新人職員歓迎ハイキング
総勢四百名参加**
**新入職員歓迎ハイキング
総勢四百名参加**

五月二十日、恒例の新入職員歓迎ハイキングが行われた。夏空の参加者は、各コースに分かれ佐賀駅からマザーパークを目標に迎ハイキングが行われた。夏空の参加者は、各コースに分かれ佐賀駅からマザーパークを目標に迎ハイキングが行われた。夏空の参加者は、各コースに分かれ佐

下、職員家族を含む総勢四〇〇名の参加者は、各コースに分かれ佐賀駅からマザーパークを目標に迎ハイキングが行われた。夏空の参加者は、各コースに分かれ佐

と「カード」の提供を始めた。患者さんから喜びの声をいただいている。

カウンター内では、薬剤師、クリニックがリアルタイムで対応し、糖尿病外来の診療の一端を担うことをになり、糖尿病外来の側面から

のサポートが期待されている。

が行われた。

(関連記事四面)

認定試験結果発表なる
入院患者さんに誕生日のサービス開始

四月より栄養科では、病院にいても誕生日のお祝いを入院患者

さんにお祝いを贈る。お祝いを贈る。お祝いを贈る。

院にいでも誕生日のお祝いを贈る。お祝いを贈る。

CS委員会

「今後の取り組みについて」

CS委員会 委員長
湯城宏悦

この四月より、接遇面のみならず様々な点から患者サービスといふ事を考えていく委員会の主宰を病院長より仰せ付かりました。検討の結果委員会の名称を「CS委員会」と命名し、活動を開始しました。

「CS」とは、顧客満足の英語略です。このような部門は病院以外の他業種では、既に当然の如く存在し広く活動しています。当院では今から七年前の平成六年より

S委員会です。CS委員会の活動

「ホスピタル・マナー委員会」として病院職員のあるべき姿を追求して的早くから取り組んでいた方だといえます。その発展的解消がこのC

裏方であるこのような委員会は具体的な物や数値として現れるわけではないので、その活動をどのように進め、評価していくのかは難しいところです。ただ、日本の常識は世界の非常識と言われると同様、一般社会の基準から見て、病院には非常識なところがたくさんあると思われる。それを少しでも少なくしていき事が当委員会の使命と言えるでしょう。

この四月より、接遇面のみならず様々な点から患者サービスといふ事を考えていく委員会の主宰を病院長より仰せ付かりました。検討の結果委員会の名称を「CS委員会」と命名し、活動を開始しました。

委員会活動報告 =広報委員会=

当院を知った理由は「知人の紹介」が一番

—広報委員会アンケート調査集計結果まとまる—

二〇〇一年一月五日、当院広報委員会は、午前と夜間診療に来院された外来患者さん一九五名の協力を得、当院を知るきっかけについてのアンケート調査を実施した。

外来患者さんは玄々堂君津病院を知った理由として最も多かったのが「家族、知人の紹介」で一九五人中七〇人(約三六%)で、次いで「建物を見て」、

「他院からの紹介」の順であつた(表三)。

一方、IT時代といわれインターネットの普及に伴い、当院では

早くからホームページを開いていますが、このホームページを見ていると患者さんは一人もないなかに利用されていく傾向を示していることから、今後インターネットによる診察予約など、新しい

展開によって患者さんや開業の先生方のニーズにこたえる必要があると考えられる。またこのアンケートと平行して、医療情報コーナー、新聞「ヒューマン」そして「皆さんの声」に関して多数の意見が集まつたため、広報委員会ではアンケートのすべての内容を医療情報コーナーに公開し、さらに新しい意見を求めていくことであった。

当院紹介パンフレット「病院診療案内」の作成も順調

広報委員会では、本年四月より医療機関や公的機関を対象とした当院紹介のパンフレット「病院診療案内」の作成に当たっている。このパンフレットは、当院の特性を紹介し当院を知つて頂くことでより、医療機関としての信頼性を向上させ、医療に関わるスムーズな情報の提供を行う事を目的として作成されている。

パンフレットは年に数回定期的に発行され、既に君津・木更津医師会等にパンフレットの送付は開始されている。

いたくことにしました。

最後に一言。当院のシステムとして、CS委員会は、直接の苦情の窓口とはなっておりません。何か問題が生じた時には、その場にいる職員に対応を求めていただかなければ、投書として問題提起していただくようになります。あし

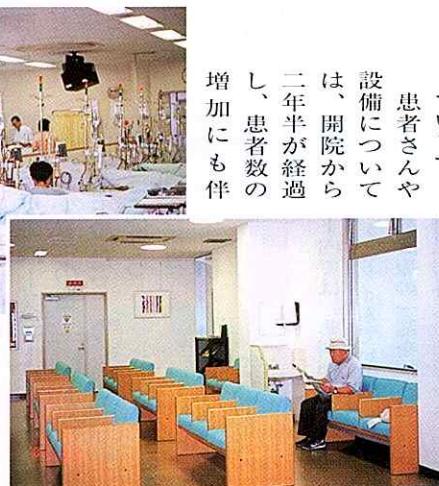
関連施設紹介 その1 玄々堂木更津クリニック

このコーナーでは新シリーズとして、当院関連施設を御紹介致します。

第1回目の今回は、今年で9年目を迎える玄々堂木更津クリニックの現在の状況を報告致します。



拡張整備された二階透析室(上)と外来待合室(下)



透析患者さんと共に歩み始めた木更津クリニックも現在では百九十二名の透析患者さんと三十四名の職員の規模にまで大きくなり、まもなく九年目を迎えようとしています。

透析患者さんと共に歩み始めた木更津クリニックも現在では百九十二名の透析患者さんと三十四名の職員の規模にまで大きくなり、まもなく九年目を迎えようとしています。



玄々堂木更津クリニック全景

玄々堂木更津クリニックは、木更津市高柳に平成五年九月一日、慢性腎不全治療を中心とした内科・外科のクリニックとして、職員数二十一名、透析患者數七十名、透析患者数十一名、透析患者数五名、透析患者数七名、透析患者数三十台で開院を迎えました。

透析患者さんとの割合も増加してきています。

透析患者さんの送迎の面においては、君津病院と木更津クリニック間の無料での送迎を目的とした「シャトルバス」が平成十二年一月十日に運行開始となり、一日二往復での現在の利用者は三十一名で、今後も利用者は徐々に増加していくものと思われます。更に、平成十二年四月に行われた改築工事ではCT装置が設備され、当クリニックでもCT検査を受けられるようになります。

治療に大いに役立っています。

治療に大いに役立つています。同時に、外来待合室の改修や二階・二階透析患者さん待合室も整備拡張され、入退室時の混雑も大幅に解消されました。また、二階の増築部分では倉庫が新設されましたので、各部署で発生する書類等の保管場所として利用しています。

開院当初は少人数の

